

## 田原市まち・ひと・しごと創生連携会議 委員意見要旨（第1回）

### （1）田原市人口ビジョンについて

#### 1）将来人口の考え方

- ・人口の目標数値を誘発するための数字と、市の人口フレームとしての数字では意味合いが異なるため、すべてが希望的な数字であると過大な状況を生む可能性があるため留意する必要がある。
- ・田原市全体を考えることは大切であるが、各地区の実態も詳細に調べる必要がある。

#### 2）将来人口の実現に向けて

- ・田原市の人口シミュレーションを含めた「人口減」が市の全体や自分たちの生活にどのような影響を及ぼすのかということを具体的にわかりやすく説明した方が、市民に伝わりやすいと考える。
- ・シビアに現状を見て、交付金等は上手く活用し、市民の方々とともに危機感を共有して、どのように行動していくかを考えるのが良い。
- ・将来人口については、農業、地域産業、臨海企業の従事者などの内訳の変動も把握したうえで、今後増加させるターゲットを絞り、それに有効な施策を検討するのが良いであろう。
- ・一般的に地方自治体は交流人口を増やしていく必要がある。総合計画にあるように交流人口に資する施策を考えていく必要がある。
- ・人口増加を考えるに当たり、田原市に住めば子育てする際にも年配の方が関わってくれて安心である等、心豊かな住みやすい町との観点を持って進めていきたいと考える。

### （2）田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

#### 1）総合戦略の方向性について

- ・田原市における地方創生の考え方は、雇用の創出、定住・移住、結婚支援・子育て支援、地域の魅力づくりの4点に絞って議論していくことになるであろう。
- ・市民に働きかける際には、簡単なメッセージや簡単なアクションで意識を持ってもらう携わり方が望ましいと考える。
- ・定住人口の増加を検討することも大切だが、地域活性化には交流人口の増加も大切である。総合戦略の中においても、交流人口増加に資するものがあれば、それも含めて検討することが望ましい。
- ・総合戦略の達成度の指標を決める際には、達成するための指標づくりではなく、どの位置にいるかを判断できる指標にすることが重要である。
- ・田原市が人口増加に資する総合戦略を検討していると同様に他の市町村も検討しているため、相対的に上回る施策を作る必要がある。自治体間競争が始まっているという認識で総合戦略を策定してほしい。
- ・田原市にしかないもの、田原市でしかできないもの、オンリーワンという視点を大切にしたい総合戦略になればと考えている。

## 2) 基本方針について

### ①雇用の創出・就労促進

- ・市内に就職先が少ないため、若い世代の人が市外で就職や結婚をして生活圏が市外に移っている。そのため老夫婦が多くなっている現状のコミュニティの維持は困難になっており、空き家も増えている。
- ・渥美半島の観光資源である海を活かすために、ビューポイントである国道 259 号の馬草口の垣根を整備する場合などでも十分に配慮することが大切である。
- ・観光客を増やし、少しでも多く経済活動を行ってもらえるようにすることが重要だと感じている。サーフィン等の地域資源も活用していきたい。
- ・渥美ではアサリの業況が良くないため、厳しい状況である。漁業も大切であるため、しっかり考えていきたい。

### ②定住・移住促進

- ・市民が田原市の魅力を理解し、自分のことのようにとらえて地域活動に参加していくことで愛着が湧くと考える。

### ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現

- ・子育て世代が共働きの場合は、子どもを預けられる施設がない地域に住むことは大きな問題である。
- ・行政への期待は、これからまち・ひと・しごと創生として若い世代の結婚を考えていくのであれば、社会福祉協議会だけの委託では限界があるため、市の直営事業として結婚相談、成婚推進体制を整えてほしい。

### ④地域の魅力・住み良さの向上

- ・今年4月をもって、赤羽根地域には医師がすべていなくなってしまったため、医療を受けるためには田原市街地か福江市街地へ行く必要がある。現状は家族が通院の送迎をしているが、仕事への支障も出ている。
- ・田原市内に縦貫道を整備することにより、豊橋圏外への通勤や、観光に非常に良い影響が出ると考えるため、積極的に道路整備を推進してほしい。
- ・公共交通機関を整備し、お年寄り等が自分で行動できる環境になればコミュニティも充実していくと考える。